

発行所(郵便番号100)  
東京都千代田区丸の内2-4-1  
丸の内ビルディング781号室  
社団法人スウェーデン社会研究所  
Tel (212) 4007・1447  
編集責任者 岡沢 憲 美  
印刷所 関東図書株式会社  
定価200円(年間購読料参千円)  
1990年4月25日発行  
第22巻第4号  
(毎月1回25日発行)  
昭和44年12月23日第3種郵便物認可

# スウェーデン社会研究月報

Bulletin Vol.22 No.4

Japanska Institutet För Svensk Samhällsforskning  
(The Japanese Institute for Social Studies on Sweden)  
Marunouchi-Bldg., No.781. Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan.

## 内閣危機とカールソン政権

Cabinet-crisis and I-Carlsson again

常務理事 早稲田大学教授 岡沢 憲 美

Prof. Norio OKAZAWA

経済加熱の中の内閣危機。失業率が僅か1.4%という超低空飛行。経済は、順調から、むしろ、加熱気味であった。好調が続けば、当然のことながら、インフレが加速し、賃上げ要求が発生する。だが、企業の国際競争力をなんとか維持しながら、高負担・高福祉政策の臨界点近くで、超絶的技巧で経済運営しているスウェーデンでは、賃上げ圧力がインフレを刺激し、生産コストをアッという間に押しあげてしまう可能性がある。豊かさに慣れた欲望社会の市民は一度、歯止めを突破すれば、際限なく爆発する危険性がある。今回は、スト風景に馴染まない職域でスト・ブームに着火された。まず、学校の教師が昨年12月11日に全国でストに突入した。4万強の教師が参加し、約75万の生徒が教室から締め出された。そして、警官が賃上げストを計画。これはなんとか回避されたが、賃上げは実現した。そして、銀行員ストと経営者側のロックアウトでの対抗(1月29日)。全国の銀行が閉鎖され、企業活動に大変調をきたした。長引けば経済そのものが停滞する。

2月8日。政府は危機克服策を議会に提出した。その内容は①ストライキ・ストップ、②賃上げストップ、③家賃値上げストップ、④地方税引上げストップ、⑤物価ストップ、と予想以上にハードであった。社民党の読み違いは①であった。確かに、ストライキ権の乱発という現象が目につくことは事実である。だが、LOを権力基盤にしている限り、社民党といえども、触れてはならぬ問題であった。抗議のため、数千のメンバーが組織を離れた。身内からも批判された危機克服政策は議

会で拒否され、カールソン内閣は総辞職した。最近の世論調査で快調な支持率を獲得している穏健統一党のカール・ビルトは、解散→総選挙を主張した。だが、政策の一部手直しで合意を調達できると判断されたので、カールソンは引続き政権を担当する準備に入った。

ストライキと賃上げ凍結の解除で、(穏健統一党と国民党を除く)野党との合意が形成され、予想通り、カールソンが改めて組閣することになった。但し、財務大臣・フェルトは責任を取って辞職し、代って、アラン・ラーションAllan Larssonが財務大臣に就任した。新財務大臣は労働市場政策を専門とする堅実な実務派である。パルメ前首相やカールソン現首相と同じく、元首相T・エランデルの下で政治を修行したことで知られている。新財相が直面する課題は、常にそうなのだが、インフレ抑制による国際競争力の維持である。[豊かな高福祉国家]という超大型ジャンボ機は企業の旺盛な競争力で浮揚する。

### 目次

内閣危機とカールソン政権……………岡沢憲美…1
(遺稿) ストックホルム王宮…(故小野寺信氏)……………2
<STOCKHOLM通信> 銀行ストと経済危機……………三瓶恵子…3
(日瑞基金派遣研究員よりの便り)
7ヶ月目に入ったヨーテボリ滞在… 國本雅也…4
SIPニュース……………5
(統計) 数字で見るスウェーデン (No.5) …6

# ストックホルム王宮

Loyal palace of Stockholm

故スウェーデン社会研究所顧問 小野寺 信氏  
the late Makoto Onodera (Adviser)

12世紀のこと、ストレンジネス（ストックホルムの西方約90km）近在に住む一人の漁師が、聖域の禁漁を犯したかどでビショップの激怒にふれ、信仰を捨て、逃げ出してきたのが事実上ストックホルム最初の住人といわれている。もっともその前に掠奪してきた妻に怒られ、木につるされ置き去りにされたと伝えられるアグネという王がいたということである。だが本当の意味での定住者といえば、メラー湖とバルチック海とが落ち合うところにある小さな島に、13世紀のころ築かれた要塞にたてこもった人々であった。彼らは海賊に備えて鎖でつないだ丸太—ストック—のいかだで島を取り囲んで守ったので、後にこの島はストックホルムと呼ばれるようになった。これが今日ストックホルムの中核をなしている島である。城廓はなぜか解らないが「三つの王冠」に型どられており、中世の政治家ビリヤールによって建てられたものである。1797年にこの城は火事で焼失したが、そのあとに建てられたのが今日の王宮である。

今日の王宮は宮廷建築家ニコデムス・テッシン、ジュニアによって建て始められたが、彼は工事半ばで死んでいる。工事の完成までに50年以上を費し、建築家カール・ホルレアンその他によって落成に至ったのである。その当時もまた現在も、これはストックホルムの最も感動的な建造物の一つで、莫大な費用がかかり、1727年には完成させるために国会によって全国民に特別税金が課せられたほどであった。

王室は1754年に王宮にはいられ、以後ずっと、今日まで、ストックホルムの王家公的の住居である。今日ではその600にのぼる室は、公的行事用と国王および国王の大叔父ベルティル殿下の私的なアパートメントにわけて使用されている。

元首である王家の住居として、この王宮が世界の宮殿の中でもユニークな点は、一般大衆がその

周辺を歩きまわる自由のあることである。日中は王宮の内庭に通じる入口は開放されていて、誰でも自由にはいることができる。宮廷に公用のある人は車またはタクシーで内庭に乗り入れることも駐車することもできる。王宮のかなりの部分は一般に公開され、少数の儀仗兵を除いて警官も護衛もないのが印象的である。王族の方々が護衛もなく徒歩で王宮を出られ、目立たずに市街地へ歩いていかれ、旅行者や通行人に見とがめられることなく群集の間を通り抜けて、公用や私用を足されることは決して珍らしい光景ではない。故グスタフ五世はあるとき「護衛はどこですか」と問われると、人々を指しながら「見まわしてごらん、わたしは七百万の護衛を持っているのだよ」と答えられたという話である。

ストックホルム王宮は、王族の住居だけでなく、多くの重要な機関がもともとはこの中にあった。今世紀のはじめまでは、外務省、スウェーデンアカデミー、王室兵器庫、最高裁判所はここにあったのである。王宮の中にはまたストックホルムの最も美しい教会である王室礼拝堂と「国の広間」もある。最も印象的である「国の広間」が最初で使用されたのは、1755年四院制国会の会議場としてであった。この広間の上段を飾る銀の王座は1650年にスウェーデン女王クリスチナの戴冠式にはじめて使用されたものである。王座の左右には二つの像がある。一つはスウェーデンの有名な兵隊王グスタフ・アードルフ、もう一つはナポレオンの元の元帥ジャン・バプティスト・ベルナドット、つまり現王朝の創始者カール十四世ヨハンである。王宮にはまた博物館が3つある。王室宝物館すなわちスウェーデン王家の宝物庫と、グスタフ三世の古代美術コレクションと、中世の城塞「三つの王冠」の遺物を展示してある王室博物館である。

国王の私的な客人として今までにかなりの数の

平民が王宮の中に住んだことがある。客人のうちで最も特色のあった人は、スウェーデン人の医師アクセル・ムンデである。彼は第一次世界大戦中にイギリス野戦病院の指揮をとったのち、カプリ島に鳥と芸術の聖地をつくった人として、また『サン・ミッシェル物語』の著者として世界的に有名であるが、第二次世界大戦中彼が愛するカプリ島に帰れなくなってしまった。そのとき彼の個人的友人であった故グスタフ五世が、彼を王宮に招いて住ませた。彼は1942年から1949年に死ぬまで王宮に住んでいた。

王宮の迎賓アパートメントにはスウェーデンを公式訪問する各国元首たちが宿泊する。このアパートメントは王宮の西側に位置し、隣接するストックホルム寺院と絵のような旧市街を見下ろすことができる。

国の宴会は、バロック調の部屋のうちでも最も

代表的なチャールズ十一世ギャラリーで催される。毎年12月にはノーベル賞受賞者のために年次晩餐会の催されることは有名である。

この原稿は1980年に在日スウェーデン大使館より、スウェーデン外務省広報局資料として当研究所へ提供されたものである。当時故小野寺信氏が翻訳しておいたのが、最近発見された。10年前の資料であるから現在とは異っているところがある。これには国王一家がこの王宮に住まわれているとしてあるが、現在はここではなくドロットニングホルム宮殿（ストックホルム西方約10km）に住んで居られるし、ベルティル殿下はユルゴーデンに住居を持っておられる。王宮の中の「国の広間」（Rikssalen）は1755年に四院制国会の議場として使われて以来、1970年の二院制国会の最後の年まで、年々の開院式には古式のままの様式で豪華な儀式が行われていた。

（注：顧問小野寺百合子）

## <STOCKHOLM通信>

# 銀行ストと経済危機

The Bank-strike and economic crisis

会員 三瓶 恵子  
Ms. Keiko Kjellsson-Sampe

一月末から三週間にわたって銀行のストライキ／ロックアウトが行われました。賃金交渉がうまくいかなかった結果そうなったのですが、最初は誰もこれ程長くなるとは思っていなかったようです。世界金融の中心とは言えぬものスウェーデンだとて先進国のはしぐれ、銀行なしには企業活動が停止してしまうから、2、3日中に労働組合か、雇用主連盟かのどちらかが「常識」を働かせて折れてくるだろうと言うのが大方の見方でした。

スウェーデンのサラリーマンは大抵毎月25日に銀行振り込みで月給を受け取るのですが、ストライキの予告がでていたので多くの人はいつもより多めに現金を引き出し「非常事態」に備えました。でも3週間分も余分に引き出した人は余り多くなかったようです。

銀行が閉じて2週間目に入ると「質屋」が大繁盛しはじめ、駅の外貨交換コーナーには長蛇の列ができ、いつもは大混雑の郊外の大スーパー

マーケットや街なかのデパートなどはガラガラになりました。3週間目に入るといつもは満員のランチ・レストランにも空席が目立ち、職場の同僚の間で少額の貸し借りが始まり、一部のスーパーマーケットでは身分証明書がわりに病院の患者カードで「信用買い」ができるというシステムを導入するようになったりしました。生活保護事務所に助けを求めに駆け込む例も多かったようです。

郵便局の銀行業務の一部は機能していましたが、大きな店ではカードでの買い物を受け入れていたのでまったくの金融ストップというわけではなかったのですが、それでも銀行が3週間も閉じたままでも普通に生活が続いてゆくということに驚かせられました。

今回の銀行ストで一番打撃を受けたのは、電気製品、服飾などの小売業だったようで、売り上げ50%減、販売業全体の銀行ストによる損失は実に25億クローナにのぼるという数字が出ています。



銀行自体はストライキをしている従業員に対して給料を支払わなくていいわけですし、現金の引き出しがストップしたために利子がつきかなり儲かったと言われていました。けれども対外的にはスウェーデンの国自体が経済面における信用をさらに無くしましたし、10%以上の昇給を勝ち取った組合側にしても、雇用主側にしても損失のほうが大きかったのではないかと思います。

このストライキ中に給料上昇禁止、ストライキ禁止、価格凍結などの「経済危機緊急政策」(クライシス・パッケージと呼ばれました)を提示した社民党政府が内閣総辞職に追いこまれ、フェルト大蔵大臣は嫌気がさして(一説にはスウェーデン総同盟のマルム委員長にいびり出されたとも言われています)政界から引退してしまいました。

政府の危機は内閣総辞職の後、結局カールソン第二次内閣が成立して一応収拾に至りましたが、経済危機のほうは相変わらずで先行きが不安です。3月に入ってからガソリンなどエネルギー関係の付加価値税が他のもの同様23.46%に引き上げられ、家賃もエネルギー増税のためかなり高くなり

ました。銀行スト、内閣総辞職でスウェーデン・クローナが対外的に大変弱くなったのを救うために中央銀行が金利を上げ、市中銀行も貸し借りの利率を上げた結果、持ち家購入のために銀行ローンをくんだ人達が大打撃を受けています。

スウェーデンの経済危機についてはここ2、3年新聞や雑誌の解説記事などでよく言われてきましたが、今年に入ってからそれはそれが生活実感としてひしひしと感じられてきています。「こんなにキュウキュウと切り詰めて暮らしているのに給料を上げて貰えないのはおかしい。お国のために我慢せよと言われたってなんで俺たちだけが被害を被らなくちゃいけないんだ。給料があんまり上がらないんだったらせめて休暇くらいふやしてほしい。」と言うのが一般的な庶民の言い分です。人ごととしてみれば、「ストライキ中の耐乏生活が我慢できたんだったら、もうちょっと我慢を続けて2年間給料上昇ナンに耐え、休暇を1週間返上すればスウェーデンは経済危機から抜け出せるだろうになあ」と思うのですが、いざ自分のこととなると納得できないのが辛いところです。

## 日瑞基金派遣研究員よりの便り

# 7ヶ月めに入ったヨーテボリ滞在

東京大学医学部脳研究施設神経内科

國本雅也

日瑞基金の援助を受けて昨年9月以来ヨーテボリに滞在している研究員であるが、この間の印象的な出来事を、思いつくままに書いてみたい。

ラントベッター空港に降り立つと、手紙通りワリン教授自らが迎えに来てくださっていた。教授の車でそのまま入居予定のヨーテボリ大学のゲストハウスに案内され、町のおよその説明を受け、スーパーと子供の通う幼稚園に連れて行ってもらい、さらに大学へ行って、教授秘書に銀行口座を開いてもらった。日本から送った荷物はガレージに入れてあったが、これはしばらく教授室を占領した後で教授とエンジニアのトーマスが運んでくれたものらしかった。教授自身が引き受けた留学生生とは言え、教授自らの至れり尽くせりのお世話で本当にスムーズなスタートが切れた。

食料品・日用品の表示、バスや市電の案内、各

種登録用紙等々当然のことながら全てスウェーデン語で、英語の併記は殆どないので、留学前に想像していたよりは遥かにスウェーデン語の必要性を感じた。スウェーデン社会研究所の余りでの良い受講生でなかったわたしは、不勉強を身に沁みて感じ、ヨーテボリ大学主催の無料スウェーデン語講座に参加した。ここで世界各国から来た研究者と知り合い、日本が経済的にも政治的にも非常に安定した国であることを実感した。

こちらではどこでもそうらしいが、大学の研究室でも相手をファーストネームで呼び合う。日本では「先生、先生」と言われていたのが、突如「マサナリ」に変わった。これはすぐに慣れたが、相手をファーストネームで呼ぶのは、少し気が引けてなかなか馴染めなかった。濃いコーヒーが良く飲まれているが、さほど休憩が多いとは感じな

い。むしろ朝早くから活動体制に入っているという感じがする。わたしの所属する部門は、病院内で脳波や筋電図を記録するところであるが、臨床検査技師の方達がお互いに被験者になって腕を研いたり、正常値を得たりしている。医者が忙しいのはどの国でも同じようだが、所見は自分で書く必要はなく、テープレコーダーに向かってしゃべるとタイプ専門の人がそれを打ってくれる。夕方になると開け放したドアのむこうからその日の所見をぶつぶつ言っている声がしてくる。

到着の2ヶ月後、我が家には第三児出産という出来事があったが、医療制度はさすがにきちんとしており、全くの無料でやっていただいた。分娩室は個室を広くしたような病室で、陣痛から出産まで家族がずっと一緒にいられるというのが、とても良かった。生まれた後の夕食には特別に用意されたサンドイッチ（スモールゴース）が出され、家族全員で食べた。きれいな花とスウェーデン国旗が添えてあったのが印象的だった。

研究の方は、正常者を対象として、手の神経に微小な針電極をさし、脇の下で神経をブロックした後、針電極を使って神経を刺激し、その反応を手の発汗によって生じる皮膚電位で捉え、電気刺激と皮膚電位との関係を純粹に掴もうというものである。これによってウソ発見器などに使われて

いる皮膚電位の発生メカニズムにかなりの新しい知見が加わることになる。神経内刺激のみでもわたしにとっては新しいテクニックであったが、さらにそれを神経ブロック下に行なうということで、日本ではまず被験者になってくれるひとはいないように思われる。被験者集めにはわたしも日本で相当苦勞したが、こちらでも楽ではないようだ。やはり侵襲が大きいということで、病院内の看護婦さんが多いが、余りいやいややっている感じはない。そして二、三時間に及ぶ検査にもじっとがまんしてくださる。検査が終わってもまだ麻酔薬が効いているからブロックした手は三角巾で吊して帰られる訳だが、ひょいと起き上がってバックの中からりんごを取出し、反対側の手でがぶっと食べ始めた人を見たときは、思わず「強い！」とびっくりしてしまった。

このような様子で、多くの方々にお世話になりながら、留学生活と研究を続けている。教授も研究室も論文を読んで想像していたとうりであり、現在の課題もかねて手懸けてみたいと思っていたもので本当に満足している。現在研究中の新しい知見やテクニックを日本に持ち帰ると共に、もっともっとさまざまなスウェーデンを見て帰りたいと思っている。

(1990. 3. 15記)

## <SIPニュース>

### スウェーデンの人口、850万人を突破

スウェーデンの人口は1989年度末に852万6,000人に達した。これは1988年度に比して6万7,000人の増加であり、1970年度来の最高値である。中央統計局によると、1989年度のスウェーデンの出生率はアイルランド、アイスランドに次いで西欧で3番目であった。

因みに、我国主要三大都市の1989年度末の人口は以下の通り。ストックホルム — 67万2,235人、ヨーテボリ — 43万1,796人、アルメ — 23万2,909人。この他、人口が10万をこえる都市が8つあった。

(SIP 3/90)

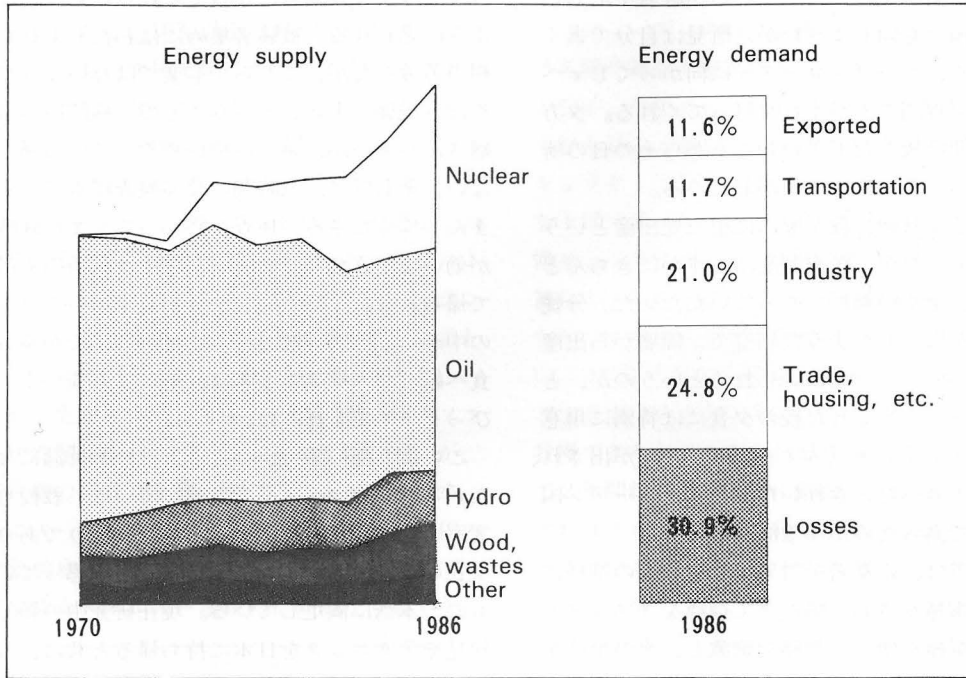
### 本年度の消費者物価、8.6%の上昇見込み

物価競争庁の発表によると、スウェーデンの消費者物価は1989年度に6.7%の上昇を示した。なお、この上昇の主な要因として住宅コスト、輸送コスト、食品価格の上昇があげられ、それらの上昇によって昨年度の消費者物価上昇分の2.1%、1.2%、1.1%が説明できるという。1990年度に関して、同庁は消費者物価の平均8.6%の上昇を見込んでいるが、このうちの2.9%程度は国の所得税減税の財源調達を目的とする付加価値税の拡張並びにその他の政策の直接的影響として考えることができる。

(SIP 37/90)

# 数字で見るスウェーデン (No. 5)

## ⑤ エネルギーの供給と需要 (Supply and Demand of Energy)



### スウェーデンのエネルギーの生産と輸入 (1970-1986)

Each type of energy valued in terms of energy content, measured in terawatt hours=TWh

Year	Domestic		Imported			Total supply
	Hydro-power	Wood, wastes	Crude oil and petroleum products	Uranium (nuclear power)	Other (coal, etc.)	
1970	49	32	367	—	29	478
1972	63	34	356	5	23	481
1974	68	39	324	6	29	466
1976	64	42	354	48	36	544
1978	67	42	333	71	26	539
1980	68	48	334	72	26	548
1981	69	48	306	114	21	558
1982	64	47	296	117	25	549
1983	74	53	286	122	25	570
1984	79	60	277	150	34	600
1986	70	70	287	204	38	669

Source: Swedish Steam Users' Association